

# あわくら 歴史街道

## ～長尾村八右衛門 の孝行詳説～

江戸時代、吉野郡長尾村（本村長尾）に、三右衛門の子で八右衛門という人がいました。13歳の頃に同じ長尾村の長九郎という貧しい農家の養子として入り、生活を共にすることになりました。

子どもの頃から養父母に良く馴れ、至極親しみを持ち、養父母も実子同様に愛情を傾け、貧乏な暮らしの中にも平和な日々を送っていました。実家はそれ相応に生活を営んでいましたが、長九郎家は年々貧しさが加わり、租税納期にも責任が果たせないのみかその日の食膳にも我慢を強いられるような家計となりました。孝心の厚い八右衛門は、他家の仕事で稼ぎ、その対価で家計を支えようと考えましたが、遠く離れた処では父母の安否を伺うことが難しいと思い、同村の莊右衛門さん宅なら父母の家と僅か三町（約327m）ばかりの距離で、父母の戸の開け閉めまでもよく見える所なので、莊右衛門さんを主人として奉公することにお願いし、決定いたしました。元来孝心の発露から選び求めた家なので、日夜の働き勤めぶりは世間同様の働き手の人より抜きんでた勤めぶりでした。

さて、父母の家との間には小さな川があるが、霜の降りる日も雪の降る朝も雨風の夕べも、安否を問わない日はなかったといいます。父母の起き出るのが遅く戸が開かないのを見ればとんでもない、囲炉裏の火を焚きつけ、当座の用事を済ませて帰り、主人への勤めは眞面目に励み、この為に少しも妨げとならなかったそうです。

その後何年か過ぎ、父母も稍々老年を迎える頃となり、養父母への心配から、莊右衛門家の奉公を辞めて家に帰り、僅かの自家耕作に精出し、暇を見つけては日雇い稼ぎ等、種々な仕事に励んで父母を養う毎日でした。唯、口や体の養いのみでなく、父母の心に聊かも逆らうこともなく顔色も言葉も常に柔軟で、父母に向かって何時も物事皆和やかに取り扱って、父母の心を穏やかなるよう心がけ、農業或いは日傭い仕事に出て行く時、僅か隣家に行く時も父母に告げ、帰れば又告げる等して、常に安心して家にいられるように心掛けていました。父は酒を好む為、種々家計をやりくりして少しでも毎日欠かさず捉め、又他人に傭われて他所行きの時、自分自身の用事で市場等へ行く事がある時は、酒の他に小さな塩魚を買い求め、更に菓子果物等、少しでも求めて帰り、父母を喜ばせました。

（続く）



## 人の動き

平成20年12月1日現在

- 人口 1,628人（-1） ●11月中の移動  
男 760人（-1） 出生 0人 死亡 0人  
女 868人（±0） 転入 3人 転出 4人
- 世帯数 540戸（+3）

## お誕生日おめでとう

春名 るかちゃん

12月11日生まれ（中土居）

お父さん 一樹 さん

お母さん 理恵 さん

## 幸せ多い人生を

道上 広基 さん（別府）

田中 美佳 さん（愛媛県）

## お悔やみ申し上げます

中島 千恵 さん（谷口）12月20日 88歳

小林登美子 さん（谷口）12月20日 68歳

萩原美佐枝 さん（影石）12月21日 87歳

## 善意の窓

（村社会福祉協議会から）

平成20年11月20日～20年12月12日

## おめでとうございます

別府 白旗 善和 様 長女 千恵美様 結婚内祝

## お大事にしてください

引谷 青木ときよ 様 本人 退院内祝

塩谷 矢代 順子 様 本人 退院内祝

塩谷 矢代 真理 様 本人 退院内祝

## ご冥福をお祈りします

谷口 政久 義雄 様 亡母 みやこ様 香典返し

## 今月の村税

### 個人村民税（第4期）

### 国民健康保険税（第8期）

**納期限：2月2日（月）**

◎納期限にご注意いただき、納付をお願いいたします。口座振替の場合は残高確認をお願いいたします。

お問い合わせ先：西粟倉村役場総務企画課  
保健福祉課

**たばこは村内で買いましょう**

# 広報

平成21年1月号 発行 〒707-0503 岡山県英田郡西粟倉村役場総務企画課 TEL.0868-79-2111(代) FAX.0868-79-2125  
No.548 印刷 (資)谷本弘輝堂